

# 寺報

龍正寺

日なた 175号

師走

日延



<令和 4年 12月>

宝龍会  
護持会

## 住職一言 (欲令衆)

12月、師走年の瀬を迎えました、一年間どのような年でありましたか、一度振り返って見て、来年には同様な事がない様に感謝、反省して壬寅年を送り、新しい癸卯を迎える準備をしては、いかがでしょうか。

読誦いたします、欲令衆、妙法蓮華經方便品第二の中に説かれています。

『諸佛世尊は衆生をして佛知見を聞かしめ、清浄なることを得せしめんと欲するがゆえに、世に出現したもう、衆生に佛知見を示さんと欲するがゆえに世に出現したもう、衆生をして佛知見を語らしめんと欲するがゆえに、世に出現したもう、衆生をして佛知見の道に入らしめんと欲するがゆえに、世に出現したもう舍利弗、これを諸佛はただ一大事の因縁をもつてのゆえに世に出現したもうと名づく。』

〔解説〕(妙法蓮華經略義 鈴木修学先生の本を引用させていただきます。)

仏知見というのは、仏という境遇はもっとも明るく、楽しく、人として生き甲斐のある生活をすることを知ることである。たとえば世の中の人々はほんとうに明るく楽しい生活を知らない。それは暗い室にはいるようなものである。仏は明るい、

楽しい室にいるもので、暗い室より明るい室に出て楽しい生活をさせてやらせと思われ。そこで明るい室の戸を開いてみせる。これを「開<sup>カ</sup>」という。そして明るい室の美しさを見せる。これを「示<sup>シ</sup>」という。そして明るい室の方が綺麗だ、はいつて見たいなと思わせる。これを「誘<sup>ユ</sup>」という。その美しい室に自分の力でもって歩いてはいるせる。これを「入<sup>ニ</sup>」というのである。仏様は涅槃経にもあるように、常に「一切衆生の苦を受くるは悉く是れ如来一人の苦なり」とおおせられ、その苦しみより脱せしめ、真の楽しみを与えたいと努力していられる。すなわち仏の一大事とは暗闇の生活、苦しい生活の者をして、明るく楽しい生活に入らせるように導き「極楽」の世界とするにあるのである。仏様は世の人々が各々仏性をそなえていることを知っていられる。

次の三は仏性の性質である

1. 正因<sup>シュ</sup>仏性 = 生れたがらにしてそなえている仏と同じ性質。子が親を慕う、親が子を膝の上

に抱きあげる、親しみあうという本性

2. 了因<sup>リョウ</sup>仏性 = 教によって修養し、学んでその学ぶことによって仕上げ、生れたがらのよい性質

質を育てて大きくする、その性質をいう

3. 縁因<sup>エン</sup>仏性 = 学んだだけでは足りない。よい行を実行して心に喜びを感じ、なるほど

楽しい、うれしいものだな、とわかって来る。それを縁という、縁により

実際に行って、真実を掴む、これを縁因仏性という。

かくの如く学心、悟り、行うことのできるのは自分に仏性のあるおかげ」ということを知ら

ぬべからぬ。これを仏知見というのである。

かように自分の仏性を自覚し、その仏性を研いていくこと。開、示、悟、入せしめるために仏さまは世の中に出られたのである。またわれわれもその責任を背って生れて世の中に出たのである。一応仏が世に出られたという目的を説明せられた。さらに言葉をあらためて非常に厳格に申される。そして仏は舎利弗におっしゃった。

この一年間寺報日なたを購読してくださった事感謝いたします。

また投稿して下さいの皆様にはお礼と感謝申し上げます。

皆様方良い年をお迎え下さい。

南無妙法蓮華経

# 「今の今」

ご法話よりとみなさまよりノッノ散  
っていたなきながら今日までおかげさまで  
迷いながら歩いてこれました。81才のわた  
くしてございます

何と知らずでした 知らないことの方が多く何もわから  
ずでいました若い頃… 教してもらい学ばさせて頂け  
ましたが自己反省のくり返しで泣いてみたり  
笑ってみたり怒ってみたりのことばかりでした!!

むづかしいことを やさしく思いーやさしいことをー  
深くー深く考えてー面白くするー

長い年月の日記に記してあります。

束熟さの中 何とわかっていなかったんです

どなたかに人生の道の歩み方 過し方を教え  
てほしいと思ってました。 若い頃頃の23才~25才  
頃です。 わかろはすめないとも思ったりでした…

八百屋さんの仕事がある中、やらなきゃならぬの中で  
仕事に追われ、時には追われず中で義父母に気を  
使いながら… トイレで泣き 仕事しながら泣き  
床で泣き… 子育ての思いもどんな風だったん  
だらうか今思えば大層な子供に申し訳な事も  
つあります!! 年を重ねれば重ねた分だけの  
苦労話と同じぐらい良き思い出もいっぱい  
あふだろうにとも思います いろいろなこの体験  
話しを語る時は有りがたい 思いの今でございます  
わたし一人が大変じゃないのです 仕入れに行ってくれ  
ました主人のおかげなのです 肉屋さんのおかげさま  
仕入れ先を大層にせねばわが店は繁栄しないと  
学びました!! 元して母のおかげさまでありました  
わたくしが嫁ぎました時… 姑は女5才でした  
女6年以内の内に仲よし姑・嫁になれましたことは  
よろこびであります 元んな姑にも充分な思返しも  
できていません 84才ガンで弱りはじめました

長い年月と共にくらしした姪には何人のお通しも  
できずした家族皆んなに良くしてくれました...

看護の中で 御礼を申しました泣きながら...

すまんやえ... すまんやえとよく言ってくれましたそんな

姪の尊い思いが今も心に残ります...

看護のお返しができるしことと 息子家族が  
いてくれたことでどれだけ心強く安じていら

れたことは計り知れません

姪もよく姪のせわとしてくれました あのとも

このことも大変の中でしたか今思えばそんな

ことの色々が 何んだか心ちよく心に残ります

思いやりのやさしさで務めてゆかねばのことと年を

重ねました今にわかります。

こんな思いもすべて 仏さまの大慈悲の中で

わたくし達のいろいろな手柄を包んでいて下さる

おかげさまでございませう。御礼のお言葉もない程に

うかしゅうございませう。

あの道もこの道も哀しみもよろこびも大變も  
味わってこなければ今のこの幸せのよろこびには  
辿り着けなかつたのではと思つてみます

この尊い思いもそれは大学院の法ヶ經の  
尊い学びにご縁がいただけましたことよろ  
こびでございます

お正人さまよりもいっとお声かけをいただきます  
若い信徒さんよりもご親切をいただきます有り  
がたくよろこびでお事さんへと参拝させていただきます

尊い尊いお題目のご守護よりの安心の  
日々のくらしがありますことに心より御礼を  
申し上げます ありがとうございます

南無妙法蓮華經

合掌



# 「年の瀬に」

令和四年の寅が もうじき 終わろうとレリマシ。

皆様は どの様な年であったにレシマシか？

そのその人生がある様に 悩ませ成リ行きも  
そのそのにである様に 思ひマシ...

最近では私も夜に酒を呑むと台所で肴を作りながら  
演歌を口ずさみ、日本人に生まれ良か、下好めと演歌の  
良さを感応する年合に なる来たマシマシ。

私の令和四年は 年明け早々と自転車で転ぶ、  
顔面を傷だらけとなり 肋骨を折る事故をレ...

春先には 腹痛を單なる痛みを放っておくより盲腸炎  
の寸前に なるマシ...

手取筋力トレーニング中に 骨のけんばん断裂という  
大きなケガを受けたりと 身体に伴う故障が 多く見受け  
一年をレた。

レかしながら その全てが 大難か小難なり 無難と  
なり 仏様の御加護を蒙けた事に 感謝しておマシマシ。

最近に於て 此の事を思ひたり...

この現世に於て 日本という国に生まれしに於て 伴せざるに  
ともし 人生を振り返りてみると 「人生とは過去生で犯した  
罪障を消して行く旅」であらうかと思ひたりし。

自分自身が作ってしまった罪の重さで 産み落とされる親や  
環境が決まり、生きて行く中で どう罪を消して行くか...  
それから知らぬ間に 罪を上塗りする様に重ねて行く  
ばかりで 未来世に何倍も自身に来るであらう定め  
と付いてくるものか...

私は 佐口上人と共有していく時間の中で 学ばせて戴いた事  
であります。

人生は時として振り子の様に

大きく振られるれば 振られる程に 反動として戻って来たり。

大小の罪を知らぬ間に重ねていく事もあるでしょう...

しかし この現世に於いては 二つに法華經の仏縁を頂き

日々の暮らしの中で 迷い苦しむがらみで、この仏縁から

救済されることを... 生きて行く事に感謝して お題目を

唱えるように 向ふ命をいす。

令和五年が皆縁に於て 感謝の伴せか...

多く訪れる事を願ひたり。

## ～ 一喜一憂せず ～

朝、仏壇でお経を唱え終わると、主人が「日本、勝てるぞ!」

それは、ワールドカップ。ドイツ対日本の試合でした。

おかげ様で残り数分のプレーを見る事が出来ました。

そして終了のホイッスル「勝った!!」と思わず興奮しました。

相手国がドイツと知った時から、取りあえず結果だけ知りた

いかなとかの入らない思いでしたが、やはりプレー中の現場

の声・映像は高揚感が高まり、テレビに首づけになりました

た。

勝利した時の森保監督の一言が、強く心に残りました。

勝利を歓喜する中で「一喜一憂せず」次の試合へ向かって行こう!!

興奮し歓喜しあう事も素晴らしい事です。しかし、必要以上

の感情は時に冷静さを失い、高飛車・高慢になりうる事も

あります。物事を安易に考えやすくなります。

このような時だからこそ、気持ちも切り替える!!

一喜一憂せず… 大事な事ですよ。

釋尊様のお教え「日々淡々と過ごす」の言葉が浮か

びました。

「何事も一喜一憂せず日々淡々と過ごす。」

喜びは次の力にしていく。悲しみは過剰に思いつめる事なく、心の痛みが静かに穏やかに治癒していくのを待つ。少しづつ前に向かって行ける様に…。

過剰な感情は時として、自分の思いと反した時、その思いは深く傷つき、大きな衝撃を受けます。その思いは、裏切りや怒りに撃たれる事もあるでしょう。

出勤前にワールドカップ日本勝利の喜びと、森保監督の言葉は今日の最大のエネルギーになりました。そして良き学びの振り返りが出来ました。来年はこの言葉を目標にして頑張りたいと思います。

さあ!! 次はスペイン戦だ!! 皆さんに読んで頂ける頃には「日本勝利」の明るいニュースが聞けると良いであゆ。

今年も一年間ありがとうございました。

来年も「寺報日なた」をよろしくお願ひ致します。

～ 南無妙法蓮華経 ～

## <12月の行事予定>

- 12月13日(火) 10:00~ 宗祖日蓮大聖人報恩会  
釋尊成道会
- 12月18日(日) 10:00~ 鬼子母尊神 ) 新禱会  
七面大明神 )
- 12月31日(土) 23:45~ 年越読誦会

## <12月住職の予定>

寺院ニテ 法務

## <12月の予定>

- |          |         |        |
|----------|---------|--------|
| 12月6日(火) | 各々の時間で" | 清掃、準備  |
| ?        | ↓       | ↓      |
| 12日(月)   |         |        |
| 13日(火)   | 法要後     | 片付け、準備 |
| 14日(水)   | 各々の時間で" | 清掃、準備  |
| ?        | ↓       | ↓      |
| 17日(土)   |         |        |
| 18日(日)   | 法要後     | 片付け、準備 |
| 19日(月)   | 各々の時間で" | 清掃、準備  |
| ?        | ↓       | ↓      |
| 28日(水)   |         |        |
| 30日(金)   | 9:00~   | 飾り付け   |